

関西大学山岡塾について



大学昇格100年を機に、「学の実化」を具現化する新たな試みとして「関西大学山岡塾」を創設しました

学の実化とは・・・大学は教育研究に実社会の知識や経験を取り入れ、社会は大学の学術研究の成果を取り入れることによって、「学理と実際との調和」を求める考え方です。

山岡塾の目的

将来の社会をリードする「考動力」と「革新力」を備えた経済人・起業家等を育成する

山岡塾の特徴

- 本学学生、本学卒業生、併設高等学校の生徒を対象（30名程度）に、5～6名でチームを組成し、正課外活動として、チームで協働しながら社会的課題（例：右下図参照）の解決を行う
- 各チーム最大100万円の活動資金を提供するほか、本学の教職員や校友等による支援※を行う
※ 経営者や起業家、ベンチャーキャピタリスト、弁護士・公認会計士・税理士・弁理士などによる助言 等
- 活動期間は1年間（2022年度はプレ期間として半年間）とし、社会実装までを目標とする

2022年度プレ開講におけるスケジュール

6～7月	8/26	9/1 ～14	9/15	9/20～3/3	3/4	～3/18
募集・選考	導入プログラム	プランの練り上げ	プラン報告会	課題解決に係る実践的活動・報告会（月1回程度）を実施 ・外部講師等による講演会も随時開催	最終報告会	レポート提出

期待される成果

- 具体的な課題を設定し、チームで解決に向けて取り組むことで、実践的な知識・能力が体得できる
- 活動を通して、リーダーシップ、積極性、協調性など豊かな人間性を養うことができる
- 活動を通して、イノベティブ・革新的な活動にリスクを恐れずにチャレンジする人材を育成できる

山岡順太郎の紹介

関西大学の総理事・第11代学長。1922年に大学昇格や千里山学舎開設などの大事業を遂行、理念「学の実化」を提唱しました。実業家としても数多くの会社の社長・役員等を歴任、大阪商業会議所（現：大阪商工会議所）の会頭を務め、関西経済の発展に大きく寄与しました。

山岡塾役員の紹介

名誉塾長 野田 順弘 氏（株式会社オービック代表取締役会長／CEO、本学顧問）
塾長 大坪 文雄 氏（パナソニックホールディングス株式会社特別顧問、本学理事）
副塾長 永尾 俊一 氏（白川食品工業株式会社代表取締役社長、本学評議員、本学経済人クラブ会長）

山岡塾サポート募金の紹介

山岡塾の諸活動に対する支援を目的とする山岡塾サポート募金を設置しています。いただいたご寄付は主に各チームの活動資金等、山岡塾の活動に係る諸経費として充当します。ご寄付いただいた方には、年度末に開催します最終報告会の会場参加をご案内いたします。（詳細）<https://www.kansai-u.ac.jp/bokin/yamaokajuku/>

社会的課題の例（抜粋）

衣

廃棄衣服を減らしたい

- 廃棄衣服を再利用したファッションブランドの設立
- 留学生や一人暮らしの学生に向けたフリマの実施

食

フードロスを削減したい

- 食育セミナーや出前授業の実施
- 規格外野菜を使用した商品開発（大学食堂での販売）

文化・エンタメ

新たな教育方法を開発・提供したい

- 教育用デジタルコンテンツの制作
- SNSツールを駆使した新たな学習方法の立案・実行
- プログラミング教室の展開

地方創生に取り組みたい

- 過疎化地域でキャンプ場を開設
- 空き家をリノベーションして移住促進
- 広報用デジタルコンテンツの制作
- 強みを活かしたツーリング企画の立案・実行
- 離れた家族とつながるアプリケーションの開発